

町制施行 40 周年記念特集

「
未来へつなごう、
なめがわ
ものがたり
」

旧石器時代から悠久ゆうきゆうの時を刻んできた滑川地域。
古墳時代には、渡来人によって谷津沼農法が伝えられ、
長い年月、連綿れんめんと暮らしが営まれてきました。
この地で花開いた高い文化とともに、
根付いてきた物語を紐解き、
現代、そして未来へと手渡していきましょう。





谷津田米で支えた頼朝が挙兵、戦乱の世に。



平安時代末期の和泉地区
ここは比企遠宗の館。遠宗の妻・比企尼は、源頼朝が伊豆に流されてから挙兵するまで約20年間支援を続けていわれています。



比企尼が支え続けた頼朝が鎌倉幕府を開きました。



今年も頼朝様のとうり、新米を届けるのだね



お武家様たちも大変だけど、おれたちもいつ戦に巻き込まれるかわからないね



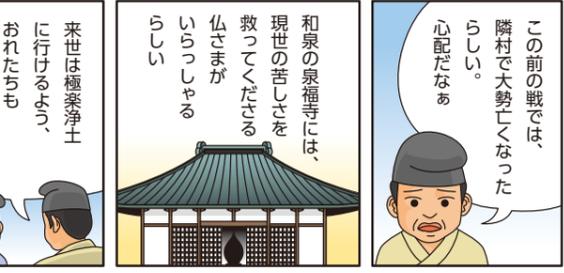
いざいざいざいざ、この道を通って武家の方々が鎌倉殿の元まで馳せ参じるんだって



鎌倉時代以降の山田地区
農民たちは城の堀や土塁(戦国時代道路)を造りにかり出されました。



来世は極楽浄土に行けるよう、おれたちもお祈りに行こう

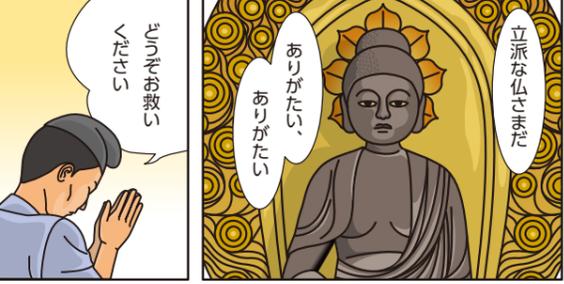


この前の戦では、隣村で大勢亡くなったらしい。心配だなあ

和泉の泉福寺には、現世の苦しさを救ってくださる仏さまがいらっしゃるらしい



戦が続き、人々は平安の世を求めて、寺社への信仰を深めていきました。



ちよとお救いください

立派な仏さまだ
ありがたい、ありがたい

城館が築かれ、武蔵武士が活躍

武蔵武士が闊歩した時代

平安時代半ばには律令制度が崩壊し、荘園制が盛んになりました。月輪という地名も、月輪殿と呼ばれた関白・九条兼実の荘園に由来するといわれます。荘園を警備する必要性から武士団が発生したとの説もあります。やがて源氏と平氏の二大勢力が台頭して武家の力が強まってきました。

武蔵武士の多くは源頼朝を支え、鎌倉幕府の創設に大きく貢献し、滑川町域を含む比企地域でも、一部は地域的、血縁的なまとまりを持つ「党」と呼ばれる集団を形成して活躍しました。国営武蔵丘陵森林公園内には、幕府のある鎌倉と各地を結んだ鎌倉街道と伝わる道が残り、その周辺には戦国時代の山田城跡、山崎城跡、谷城跡などが点在。空堀などに名残をとどめます。

和泉地区の三門館には、頼朝の乳母だった比企尼が暮らしていたという説もあります。また、戦乱の世を逃れた木曾義仲の子孫が福田郷で農民となり、その末裔が長く庄屋を務めたとも伝わっています。

戦乱の世、平安を願う仏教文化

農民たちも戦乱に巻き込まれる時代になると、人々は心の平安を願い、寺社への信仰が盛んになりました。信仰の対象として造られた貴重な文化財も数多く残っています。

平安末期から鎌倉初期にかけて造られた泉福寺の木造阿彌陀如来坐像は、国の重要文化財に指定されています。町内で確認された約260基の板石塔婆のうち、町内最古の建長の板碑は貴重で町指定文化財。ほかにも、寄木造りの四天王像が見事な慶徳寺や、福田馬頭観音、福正寺勢至堂など、由緒ある寺社が数多く点在します。



慶徳寺の山門に建つ寄木造りの四天王像



比企尼が暮らしたと伝わる「三門館跡」



泉福寺の「木造阿彌陀如来坐像」(国指定重要文化財)

The Medieval Period when Castles were Built and the Musashi Samurai Flourished

In Japan's medieval period, samurai groups emerged to guard land. In the whole area of Namegawa Town and elsewhere, a group of samurai known as the Musashi became active, leaving behind the remains of castles, residences, and roads of the Sengoku period (period of warring states).

On the other hand, peasants who were involved in the war began to worship at temples and shrines to pray for peace of mind. There are many precious cultural properties built as objects of worship, as well as historic temples and shrines scattered around the area.



近世～近代 花開く豊かな農村文化

豊かな農村に息づく
独特の文化

現代人も手本にしたい
SDGsを暮らし方

全国的に新田開発が盛んに行われた江戸時代の初頭には「もうこれ以上、造る場所がない」というレベルまでため池が普及していました。谷津の奥にため池、脇を水路が走り、眼下の平地に田んぼ、斜面には林と畑や人家というのが、今も変わらぬ特徴的な谷津の風景です。

谷津沼農法のため池は、平地のため池と違って高いところに堤を築くため、常に漏水の心配があり、沼の水を利用する家々が共同で沼普請を行いました。沼を干し、底のヘドロをさらし、樋管の伏せ替え、土盛りや杭打ち、堤の補修などを手作業で行いました。堤で刈った草は牛馬の飼料や畑の堆肥にし、沼干しの際に魚の捕り会を催して、捕った魚は食卓に上ることはもちろん、大型魚の駆逐により生態系の維持にも役立ちました。国の天然記念物である絶滅危惧種のミヤコタナゴが町内の沼で見つかったのも、沼の補修を怠らず、大切に守ってきた証です。

また、江戸時代末期、関東一円の竹が枯れて竹皮が不足したとき、代わりの包装材として、月輪に住む宮島勘左衛門が枇木を考案しました。枇木は赤松を薄く削ったもので、通気性に富み、抗菌作用もあることから、食品を包むのに最適でした。昭和30年代まで、月輪地区の地場産業として盛んに製造されました。近年では、地球環境に優しい素材として、改めて見直されています。

現在では最先端ともいえるSDGsなるか昔から営まれていたのです。



魚の捕り会で使われる伝統漁具



環境に配慮した包装材として見直されている枇木



江戸時代に枇木を考案した「宮島勘左衛門の碑」



農耕馬の大きさを伝える「愚禪の馬頭尊」

共同で沼普請を行い、谷津沼を守った。

江戸時代、戦乱で荒れ果てた田んぼもよみがえり、今の町北部と変わらぬ谷津田の風景が広がる滑川の地。今日は沼普請の日。

沼干しも終わり、沼の水を利用する人々が堤の近くに集まっています。

今年も後は稲刈りを待つだけ。さあ、来年もいい米を作るためにみんなで力を合わせよう

大きなウナギやコイも捕れたぞ

今夜はごちそうだ！

土盛りや杭打ち、草刈り

樋管の伏せ替え

沼の底のヘドロをさらう

堤で刈った草を家に持ち帰り、牛馬のエサにした

みんなではやればはかどるね

たくさん草が刈れたから、いい堆肥がとれるね

堆肥づくりをしたりする人々もいます。

絶滅危惧種である国の天然記念物ミヤコタナゴが町内の沼に生息していたのは、定期的に沼普請を行っていたおかげなのです。

きれいな沼に湧水や雨水がたまります。大きな魚のいなくなった沼の中では、一枚貝が育ち、ミヤコタナゴが産卵しています。

畑の作物も良く育ちそうです

Rich Rural Culture Flourished in the Early Modern and Modern Period

In the early modern period, the unique yatsu landscape of Namegawa Town spread and the Yatsunuma agricultural method flourished. Horses for farming were highly valued, and more than 100 Bato Kannon (the horse-headed form of the Buddhist goddess of mercy) remain. Higi, an environmentally friendly packaging material made of wood shavings, was also invented in Namegawa Town. In addition, fish-catching events held during numa-bushin (annual marsh bank reinforcement efforts) helped to maintain the ecosystem, allowing the endangered Miyako Tanago (Japanese bitterling) to survive in the Town's marshes.



— 現代～未来へ —

日本農業遺産に認定！

千年の伝統が脈々と続く
谷津沼農業システム

令和5年1月17日、滑川町を中心とした比企丘陵地域の「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」が「日本農業遺産」として認定されました。

「ため池かんがい」を基盤とするこの地域の農業システムは、用水確保における地形的マイナスをプラスに転じる画期的なものでした。人力による開発のため、地域を網羅するシステムの完成には千年もの歳月を要しましたが、緩やかな丘陵地の「標高差」と、高所から低



「日本農業遺産」に認定



小学校で行われる稲刈りの体験学習

所へと流れる「水の自然流下作用」に着目した、シンプルで完成度の高い「省エネ水供給システム」は、その基本的なしくみを変えることなく今日まで受け継がれています。人が関わりなくなったことで荒廃する里山が多い中、「ため池かんがい」を農業の基盤とする当地域では、時代の要請や変化に対応しつつ、絶えず自然との無理のない関わり方を模索してきました。この持続可能な農業システムこそが、世界に誇るべき農業遺産としてふさわしいものといえるでしょう。



ふるさと納税の返礼品としても人気の谷津田米

The Present, Being Recognized as One of Japan's Globally Important Agricultural Heritage Systems, and into the Future

In 2023, the Yatsunuma Agricultural System Utilizing Rainwater from the Hiki Hills was recognized as one of Japan's Globally Important Agricultural Heritage Systems. It took 1,000 years to complete the energy-saving water supply system, which utilizes the natural flow down of water, but the basic mechanism has not changed to this day. This sustainable agricultural system is a world-class piece of agricultural heritage of which we can be proud.

ミヤコタナゴの自然復帰を目指すプロジェクト



エコミュージアムセンターに展示されている国の天然記念物「ミヤコタナゴ」



ミヤコタナゴの人工繁殖のようす

ミヤコタナゴは日本固有の淡水魚で、かつては関東一円の水辺に広く生息していました。都市化の進展で絶滅の危機に瀕しており、国の天然記念物に指定されている希少な魚です。昭和60年頃、町内のため池で相次いで発見されたことから、町では平成6年から役場庁舎内で人工繁殖を開始しています。その後、平成12年からは、滑川町エコミュージアムセンターを拠点に飼育し、人工繁殖やその生態に関する調査・研究に取り組んできました。

さらに、令和3年度から国営武蔵丘陵森林公園との連携・協働による「地域の自然環境保全滑川町里山プロジェクト」をスタート。森林公園内に位置する沼で、定期的なイベント、生き物・水質調査、環境整備を実施しています。自然復帰に向けては、ミヤコタナゴの繁殖に欠かせない二枚貝が揃えるように、沼の良好な環境づくりを行うことが最大の課題です。そこで、地域や学校とも連携・協働して、生存条件の調査と整備、放流試験の方法とモニタリングなどの調査・研究を進めています。



国営武蔵丘陵森林公園と連携した里山の保全活動

Project for Natural Restoration of Miyako Tanago (Japanese bitterling)

Miyako Tanago (Japanese bitterling) is a freshwater fish native to Japan and is a rare fish designated as a national natural monument. It was discovered in a reservoir in the Town around 1985, and artificial breeding started in 1994. In 2000, the Namegawa Town Eco Museum Center became the center of breeding efforts, and in 2021, the Namegawa Town Satoyama Project began. It is expected that the project, which aims at the fish's return to nature and is being carried out in cooperation with local communities, families, and schools, will also lead to the development of children's human potential.



滑川町のシンボル「ミヤコタナゴ」

